

# 2024 年度 日本学生支援機構貸与型奨学金 出願のしおり（二次採用）

## ※2024 年度注意点※

- ①出願書類の提出は【郵送のみ】受付します。
- ②書類を郵送しただけでは手続きは完了しません。  
（詳細は次ページ参照）
- ③日本学生支援機構給付型奨学金を希望する方は、  
『2024 年度「高等教育の修学支援新制度」による  
授業料等減免および日本学生支援機構給付奨学金  
出願のしおり（在学定期採用（二次採用））』  
（以降、「給付型奨学金出願のしおり」と言う）を  
併せてご確認ください。

出願期間（※最終日消印有効）	提 出 方 法
9 月 1 7 日（火）～ 1 0 月 1 8 日（金）	本学奨学金ウェブサイトに掲載している、出願封筒貼付票を封筒へ貼付し、 <u>所属校地の学生生活課</u> へ郵送してください。

- 出願期間、提出方法は厳守してください。  
出願期間最終日の翌日以降の消印のものは一切受付できません。
- 必ず簡易書留で送付ください。
- 書類到着のお問い合わせには対応しておりません。
- 学生生活課窓口での受付は一切いたしません。
- 出願のしおりを熟読のうえ、提出書類を全てそろえて出願してください。
- 出願書類提出後、出願期間内に退職・就職等で家計の状況が変わった場合は、ただちにご連絡ください。
- 採否に関する諸連絡は、Microsoft 365(Outlook)のメール（大学から付与されたアドレス宛）を利用して連絡しますので、出願と同時にご自身が日常使用するメールアドレスへの転送設定をしてください。

この『貸与型奨学金出願のしおり』は 2024 年 9 月 3 日現在の情報をもとに編集しています。以降取り扱いに変更があった場合は、本学奨学金ウェブサイトでお知らせします。

(2024.9)

### <緊急対応について>

次に該当する者は、第二種奨学金に出願できる場合があります。詳細は通学校地の学生生活課にお問い合わせください。

- ・現在、第二種奨学金の貸与を受けていない者で、被災又は災害（感染症の影響を含む）に起因する特殊事情により、やむを得ず卒業予定期を超えて在学することとなった者
- ・現在、第二種奨学金の貸与を受けていない者で、2024 年度中に休学し、ボランティアに参加する等（学びの複線化）の活動を行っている又は行う予定のある者

## 貸与型

# 2024 年度日本学生支援機構貸与型奨学金（二次採用） 出願手続きについて

・出願スケジュールについて

チェックボックス

☐

### ①「貸与奨学金案内」「マイナンバー提出書」セット 配布期間

2024 年 9 月 17 日（火）～10 月 18 日（金）

学生生活課窓口または郵送請求にて、「貸与奨学金案内」（日本学生支援機構作成）を受け取ってください。パンフレットには、「スカラネット入力下書き用紙」、「確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書」等が同封されています。「マイナンバー提出書」のセット（黄緑色の封筒）も必ず受け取ってください。

【窓口配布期限：10 月 18 日（金）（郵送請求期限：10 月 11 日（金）必着）】

☐

### ②郵送出願期間

2024 年 9 月 17 日（火）～10 月 18 日（金）（最終日消印有効）

本学奨学金ウェブサイトに掲載の「2024 年度 日本学生支援機構貸与型奨学金出願のしおり（二次採用）」を熟読のうえ、「2024 年度 日本学生支援機構貸与型奨学金「二次採用」願書」に漏れなく記入し、p.7～p.8 記載の書類をそろえて所属校地の学生生活課へ郵送してください。郵送の際は、本学奨学金ウェブサイト「これから奨学金を希望される方へ（学部生へ）」から「出願封筒貼付票」をダウンロードし、封筒へ貼付してください。学生生活課窓口での受付は一切いたしません。願書の到着が確認できた方には順次、スカラネット入力用のユーザーID・パスワードを Microsoft 365（Outlook）のメール（大学から付与されたアドレス宛）に連絡します。

☐

### ③スカラネット入力期限

入力期限：2024 年 10 月 27 日（日）25：00

「スカラネット入力について（ご案内）」および本学奨学金ウェブサイトに掲載の「2024 年度日本学生支援機構貸与型奨学金出願のしおり（二次採用）」を参照のうえ、スカラネットの入力（日本学生支援機構へのインターネット申込）を行ってください。給付型奨学金と貸与型奨学金を今回同時に出願する場合は、スカラネット入力下書き用紙は給付のものを使用してください。

☐

### ④「マイナンバー提出書」の郵送

提出期限：スカラネットでの申込（入力）後、一週間以内

「マイナンバー提出書」のセットを使って、郵送にてマイナンバーを提出してください。給付型奨学金と貸与型奨学金の両方に出願する場合、「マイナンバー提出書」は 1 部のみご郵送ください（給付型奨学金と貸与型奨学金でそれぞれご準備いただく必要はありません）。

※①～④のすべての手続きが完了しない場合は、日本学生支援機構貸与型奨学金の選考対象外となります。  
※日本学生支援機構給付型奨学金を同時に提出する場合「給付型奨学金出願のしおり」を参照してください。

提出書類については、「貸与奨学金案内」の p.5 を確認してください。

## 目 次

出願期間・提出方法	表紙
I. はじめに	1
II. 日本学生支援機構貸与型奨学金について	
1. 概要	2
2. 出願から採用まで	3
3. 選考基準	4
4. 返還方式について	5
5. 第二種奨学金の利子について	5
6. 保証制度の選択について	5
7. 奨学金の返還	6
8. よくある質問	6
III. 出願書類の作成と準備	7
IV. 日本学生支援機構奨学金の 緊急採用（第一種奨学金）・応急採用（第二種奨学金）	1 2
V. 奨学金制度一覧	1 3
奨学金関係学内マップ	1 5

## I. はじめに

- ▼奨学金を出願・受給するのは、学生である「みなさん自身」です。  
保護者や家族と相談しながら、責任を持って自分で手続きをしてください。
- ▼奨学金の出願には、収入に関する書類を揃える等、準備に日数を要しますので、早めに準備してください。
- ▼願書や収入書類は信書にあたりますので、信書送付が可能な形（簡易書留）で郵送してください。  
なお、本学へはマイナンバー（個人番号）が記載された書類は提出しないでください。
- ▼奨学金に関する手続きをする場合、学生証を必ず持参してください。
- ▼懲戒処分を受けた場合、奨学金が「停止」又は「廃止」になるだけでなく、処分を受けた期間の出願資格が認められないことや、奨学金の全額又は一部を返還していただくことがあります。
- ▼奨学金に関すること、学生生活を送るうえで生じる経済的な問題があれば、すみやかに学生生活課へ相談してください。
- ▼同志社大学は、学校法人同志社の「同志社個人情報保護規程」に則り個人情報を取り扱います。  
参考：<http://www.doshisha.ed.jp/privacy/index.html>



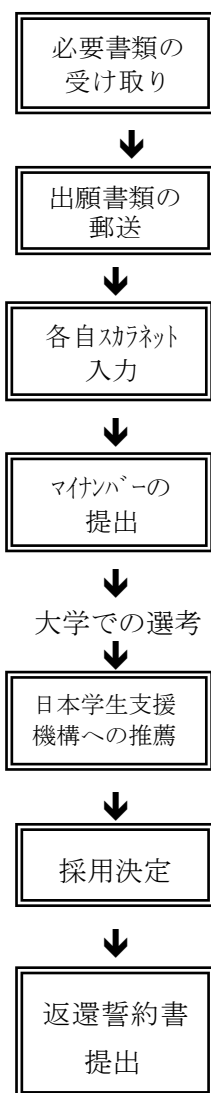
## Ⅱ. 日本学生支援機構貸与型奨学金について

### 1. 概要

日本学生支援機構奨学金は、採用人数、貸与額ともに多く、採用されると標準修業年限まで貸与されます。本学で最も多く利用されている奨学金です。

	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(有利子)
目 的	経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、貸与を行います。	
貸与月額 ※選考上、選択金額による有利・不利はありません	20,000円～64,000円 ※入学年度により異なります。 ※2020年度以降採用の給付奨学金又は高等教育の修学支援新制度による授業料等減免を受けている人は、同時に受けることができる第一種奨学金の月額が制限されます。 詳細は、別冊『貸与奨学金案内』を参照。	20,000円～120,000円 ※入学年度により異なります。 詳細は、別冊『貸与奨学金案内』を参照。
出願資格	<p>・入学時特別増額貸与奨学金（本年度秋学期入学者のみ） 新入生のうち、条件を満たすものに対して、一時金（10万円・20万円・30万円・40万円・50万円 から選択）を有利子で貸与します。入学時特別増額貸与奨学金のみの申込みはできません。 貸与基準等の詳細は、別冊『貸与奨学金案内』を参照。</p> <p>学部生で在学期間が4年以内（休学期間は含まない）の者 以下の人は出願資格がありません。 ①留年中の者（ただし卒業見込生は出願前に学生生活課で相談してください） ②外国人留学生 ③聴講生・科目等履修生</p> <p>・外国籍の方は、独立行政法人日本学生支援機構に関する省令第二十条もしくは「貸与奨学金案内」p.8～p.9の申込資格をご確認ください。 ・以前に大学で日本学生支援機構第一種奨学金を全期間受給し、卒業または退学した者で、大学の同一課程に再入学した者は、所定の条件を満たす場合に限り、第一種奨学金に出願できます（再貸与は1回限り）。出願を希望する者は、学生生活課に相談してください。 ・出願資格について不明な点があれば、出願前に学生生活課で相談してください。</p>	
学力基準	p.4参照	
家計基準	p.4参照	
利 率	なし	年利3.0%が上限。 「利率固定方式」または「利率見直し方式」のいずれかを選択。 詳細は、p.5を参照。
保証形態	「人的保証制度」または「機関保証制度」のいずれかを選択。 詳細は、p.5を参照。	
貸与期間	標準修業年限（ただし、毎年12月～1月に継続手続きが必要） 留年・休学・留学中は休止になります。（留学中は条件により異なります） 詳細は、別冊『貸与奨学金案内』を参照。	
貸与開始月	2024年10月	2024年10月～2025年3月の間で希望する月
振込日	初回振込日：2024年12月11日 ※貸与開始月を2025年1月～3月にした場合は、貸与開始月からの振込みになります。 初回振込以降は原則毎月11日に振込。詳細は、採用後に配布する『奨学生のしおり』を参照してください。	
推薦基準	出願資格を満たす者のうち、上記の学力基準を満たす者を推薦します。	
奨学金の返還	奨学金は日本学生支援機構の規定に従い、卒業後、全額返還しなければなりません。 返還誓約書は採用決定時に作成していただきます。 また、最高学年の11月頃に返還確認票を交付します(予定)。	
前年度採用実績	789名	935名

## 2. 出願から採用まで



手続きの詳細は、出願のしおり冒頭の「出願手続きについて」をご確認ください。

❖日本学生支援機構で審査されます。

❖12月上旬

Microsoft 365(Outlook)のメール（大学から付与されたアドレス宛）にて採否の連絡をします。ただし、第二種奨学金で貸与始期を2025年1月～3月にした場合は、貸与始期希望月の上旬に連絡をします。なお、マイナンバーの提出が正常に完了せず、採否が決定しない場合はその旨の連絡をします。

❖採用通知

採用者にのみ、12月上旬に採用通知をご父母等宛に郵送します。ただし、第二種奨学金で貸与始期を2025年1月～3月にした場合は、貸与開始月上旬の郵送となります。  
（電話等による採否にかかわる問い合わせには一切応じられません）

❖採用後の手続き

詳細は採用通知と一緒にお知らせします。

❖奨学金の振込

貸与始期10月の場合

初回振込日	12月11日（水）
初回金額	10～12月分
貸与開始月	2024年10月

ただし、第二種奨学金で貸与始期を2025年1月～3月にした場合は、貸与開始月に順次振込みとなります。

❖奨学金を継続するには

毎年12月～1月（予定）に、インターネットにより「奨学金継続願」を提出する必要があります。詳細は、Microsoft 365(Outlook)のメール（大学から付与されたアドレス宛）にてご案内します。  
提出後に学業成績等による適格認定を行います。  
※ただし、二次採用で採用となった場合、初年度は「奨学金継続願」の提出は不要です。

### 3. 選考基準

#### (1) 学力基準

出願者の成績が、以下の基準を満たしていない場合は推薦できません。

##### 1) 第一種奨学金（併用貸与も含む）

1 年次生	高等学校時の学習成績の状況 3.5 以上 (高等学校卒業程度認定試験合格者は基準を満たしているものとする)
2～4 年次生	大学の成績が所属学部（学科）の上位 1 / 3 以内 かつ、前年度までに下表標準単位数（免許資格関係科目・自由科目として履修したものを含まない）を修得していること。

##### < 年次別 学部標準修得単位数表 >

2 年次生	30 単位以上
3 年次生	65 単位以上
4 年次生	卒業見込者

##### 2) 第二種奨学金

1 年次生	入学をもって基準を満たす。
2～4 年次生	前年度までに下表標準単位数（免許資格関係科目・自由科目として履修したものを含まない）を修得していること。

##### < 年次別 学部標準修得単位数表 >

2 年次生	20 単位以上
3 年次生	55 単位以上
4 年次生	卒業見込者

注 1) 第一種奨学金希望の 2017 年度以降入学者は上記の基準を満たさない場合であっても、生計維持者の住民税が非課税（市町村民税所得割額が 0 円）である者、生活保護受給世帯の者又は社会的養護を必要とする者（児童養護施設等入所者、里親による養育を受けている者等）であって、次の①又は②のいずれかに該当する者については学力基準を満たす者として取り扱いします。

1 年次生	①一般選抜入学試験又は大学入学共通テストを利用する入学試験の成績が試験区分ごとに所属する学部・学科の入学者の上位 1 / 2 以上であること ②学修計画書の提出を求め、学修の意欲や目的、将来の人生設計等が確認できること
2～4 年次生	①休学期間を除いた学年における累積 GPA が所属学部・学科における上位 1 / 2 以上であること。なお、国際教育インスティテュートに所属する学生については、国際教育インスティテュートを母集団とする。 ②次の a 及び b のいずれにも該当すること ただし、災害、傷病その他やむを得ない事由により a の基準に満たない場合には、b に該当することで足りる。 a. 修得単位数が標準単位数※以上であること ※標準単位数＝卒業必要単位数÷修業年限×申請者の在学年数 標準単位数に端数が生じた場合は切り上げる。 在学年数は 1 学期につき 0.5 として計算する（休学期間は含まない）。 b. 学修計画書の提出を求め、学修の意欲や目的、将来の人生設計等が確認できること

注 2) 入学試験時に提出した高等学校作成の「調査書」で学習成績の状況 3.5 に達していない者  
高等学校卒業生（浪人生含む）は高校 3 年間の学習成績の状況 3.5 以上であることを証明してください（出身高校による証明が必要）。

注 3) 学費未納による除籍後、同年 4 月に再入学した学生については前年度までの成績で判定します。

注 4) 2024 年 4 月の転入・編入学生は編入学試験合格をもって学力基準を満たしているものとします。ただし、転入・編入学後最短修業年限（標準修業年限終期）までに卒業見込みとならない人は、採用されない場合がありますので、出願前に学生生活課で相談してください。

#### (2) 家計基準

「貸与奨学金案内」p.11 を参照してください。

家計基準に該当するか否かについては、日本学生支援機構ウェブサイトに掲載されている「進学資金シミュレーター」(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/svogakukin-simulator.html>) でおおよその目安が確認できますのでご利用ください。なお、当シミュレーションで示される結果は、入力された情報等を基に試算したものであるため、実際の結果とは異なる場合があります。



#### 4. 返還方式について

返還方式には定額返還方式と所得連動返還方式があり、スカラネット入力時に選択することができます。所得連動返還方式は第一種奨学金採用者で、機関保証を選択した方が対象です。

**※詳細は別冊「貸与奨学金案内」で確認してください。**

#### 5. 第二種奨学金の利子について

出願時に利率の算定方法の種類として①利率固定方式、②利率見直し方式のいずれかを選択することになります。いずれの方式も基本月額に係る利率は年3%が上限です。在学中及び返還期限猶予中は無利子で、卒業あるいは退学（または除籍）した日の翌日から月単位で利子が加算されます。

##### ○利率の算定方法の変更について

奨学金の交付期間中、貸与期間が終了する年度の一定期日まで変更することができます（変更締切最終期限は例年12月初旬となります）。なお、退学（または除籍）や辞退などの理由で卒業前に貸与が終了する場合は、貸与が終了する月の2～3か月前までに変更の手続きをしてください。貸与期間終了後は変更できません。

また、第一種奨学金と入学時特別増額貸与奨学金に採用された場合、入学時特別増額貸与奨学金が採用決定後の初回振込時に全額振込まれ、利率及び利率の算定方法が確定するため、入学時特別増額貸与奨学金については、採用決定後に利率の算定方法を変更することができません。

**※詳細は別冊「貸与奨学金案内」で確認してください。**

#### 6. 保証制度の選択について

奨学金の貸与にあたっては、連帯保証人・保証人を選任する人的保証制度と、保証機関（日本国際教育支援協会）に一定の保証料を支払うことにより、奨学金の貸与を受けることができる機関保証制度があります。出願時に、人的保証または機関保証制度のどちらかを選択する必要があります。

人的保証を選択した場合、スカラネットで入力した連帯保証人・保証人は、やむを得ない場合を除き変更ができません。また、採用決定時に提出する返還誓約書に連帯保証人・保証人の連署（自筆）・実印の押印および印鑑登録証明書と、連帯保証人の収入に関する証明書（市区町村で発行する所得証明書等）を添付する必要がありますので、連帯保証人・保証人を選任する際には、該当者に必ず承諾をとってください。なお、未成年や学生等保証能力のない人は認められません。

連帯保証人 (奨学生本人と連帯して責任を負う人)	原則として父または母。父母がいない等の場合には奨学生本人の配偶者を除く兄弟姉妹・おじ・おば等。
保証人 (奨学生本人及び連帯保証人が返還できなくなった時に代わって返還する人)	父母と奨学生本人の配偶者を除く、4親等内の成年親族（おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等）のうち、奨学生本人及び連帯保証人と別生計で採用時（スカラネット入力日が採用時となる）に65歳未満の人。

※連帯保証人・保証人ともに上記以外の人を選任する場合は、返還誓約書提出時に「返還保証書」および「貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有する」ことを証明する書類（所得証明書や預貯金残高証明書等）の提出が必要になります。

※奨学生本人が貸与終了時に満45歳を超える場合の連帯保証人は、貸与終了時に満60歳未満でなければなりませんので、満60歳以上の人しか選任できない場合は、下記の機関保証を選択してください。

※上記に該当している方でも、債務整理（破産等）中の場合は認められません。

人的保証とは連帯保証人・保証人を用意して債務を保証する制度で、本人の返還に遅延が発生した場合には、本人に代わって連帯保証人・保証人が返還をする義務が生じます。採用決定時に「返還誓約書」を提出してもらいますが、人的保証を選択した場合、返還誓約書に連帯保証人・保証人の連署（自筆）・実印の押印が必要です。また、連帯保証人と保証人の印鑑登録証明書（大学提出時点でスカラネット申込日から3か月以内のもの）と、連帯保証人の収入に関する証明書（市区町村で発行する所得証明書等）を添付する必要があります。なお、「返還誓約書」が定められた期限までに提出されない場合には、既に振込済みの奨学金を返戻のうえ、採用取消となります。

機関保証を選択した場合、「本人以外の連絡先」（機構が本人と連絡が取れない場合に本人の住所・電話番号を照会できる人）を1人届け出る必要があります。採用された場合、返還誓約書に署名してもらうことになりますので、あらかじめ承諾を得ておいてください。

**《注意》** 奨学金申込時において、「併願」または「併用」の申し込みをする場合は、第一種奨学金と第二種奨学金で異なる保証制度を選択することは認められません。

人的保証を選択し、やむを得ない事情により機関保証へ変更する場合は、貸与開始から変更時点までの保証料を全額一括して支払わなければいけません。また、機関保証から人的保証への変更は認められません。

**※詳細は別冊「貸与奨学金案内」で確認してください。**



## 7. 奨学金の返還

奨学金は日本学生支援機構の規程に従い、卒業後、全額返還しなければなりません。返還金は、直ちに後輩の奨学金として貸与される仕組みとなっていますので、延滞することのないよう、最後まで責任を持って返還してください。

### (1) 返還誓約書の作成

採用決定後、返還誓約書を交付しますので、本学が定める所定の提出期日までに必ず提出してください。期日までに返還誓約書を提出しない場合は、採用取消になります。

### (2) 返還確認票の交付

貸与終了年度の11月(予定)に返還確認票を交付します。

## 8. よくある質問

Q 1. 日本学生支援機構貸与型奨学金と同志社大学の奨学金を併用することはできますか？

A 1. できます。

Q 2. 第二種に採用となった場合、第一種に変更できるような措置はありますか？

A 2. 第一種移行という制度があります。第二種奨学金に採用後、第一種奨学金への変更を希望する人は、再度出願する必要があります。ただし、必ずしも第一種奨学金に移行できるとは限りません。

Q 3. 今回、家計基準を満たさず不採用になった場合、再度出願すれば採用される見込みはあるのでしょうか？

A 3. 原則として、一次(4月)採用時は前々年度、二次(9月)採用時は前年の所得に基づき審査されますので、家計状況の変化によって、再度出願すれば採用される可能性があります。

Q 4. 第二種奨学金月額5万円の貸与を受けていますが、金額の変更は可能ですか？

A 4. 月額の変更ができます。また、奨学金の貸与が必要なくなった場合も随時辞退ができます。学生生活課へ申し出てください。

## ●STEP①

学生生活課窓口にて「貸与奨学金案内」「マイナンバー提出書」のセット等を受け取ってください。

## ●STEP②

次の(1)～(7)の書類を期日までに揃えて郵送してください。

提出書類(郵送)	説明	提出が必要な方
(1) 奨学金願書	本学所定用紙。印刷はカラー・白黒どちらでも構いません。 出願のしおりと同じフォルダにデータを格納しています。 p.9を参照のうえ、作成してください。 フォームに必要事項を入力の上、印刷してください。	全員
(2) 確認書兼個人情報信用情報の取扱いに関する同意書	「貸与奨学金案内」に同封されている所定用紙。	全員
(3) 学修計画書	本学奨学金ウェブサイト ( <a href="https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest_information/for_faculty.html#kuni">https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest_information/for_faculty.html#kuni</a> ) よりダウンロードし、各項目 200～400 字程度で入力したものを印刷すること。	第一種奨学金に出願する方のみ (出願コード(3)(9)以外の方)★
(4) 戸籍謄本、生計維持者の課税証明書(寡婦(夫)控除が分かるもの)、児童扶養手当証書・受給証明書等いずれか1点(コピー可)	父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合必要。	父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている方★
(5) 在留資格および在留期間が明記されている証明書	申込者本人(あなた)が外国籍の場合、受給可能な在留資格であることを示す書類 (いずれか1点) ・在留カード(コピー) ・特別永住者証明書(コピー) ・住民票の写し(原本) 等、在留資格・在留期間(※1)(※2)が明記されているもの。 「家族滞在」の場合のみ上記に加えて ・出入国記録の写し(原本)(※3) ※1 「法定特別永住者」及び「永住者」については、在留期間が記載された書類の提出は必要ありません。 ※2 申込日時点で在留期限が経過している場合は上記書類に加え、延長申請中の書類(コピー)を提出してください。 ※3 ここでいう出入国記録とは、小学校を卒業する年齢の前に日本に入国したことを証明する出入国在留管理庁の記録です。	外国籍の方★
(6) 施設等在籍証明書(施設長発行) 児童(里親)委託証明書(児童相談所発行) 措置解除決定通知書(児童相談所発行) 等いずれか1点(コピー可)	あなたが社会的養護を必要とする人(満18歳となる前日に(奨学金申込時点で18歳になっていない人)の場合は、奨学金申込時点で)児童養護施設等(※1)に入所して(養育されてまたは一時保護されて)いた人(※2))であることが分かる日付が記載された証明書類。 ※1 児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設から改称)、児童自立生活援助事業(自立援助ホーム)を行う者、小規模居住型児童養育事業(ファミリーホーム)を行う者、里親。 ※2 高等学校等を卒業することにより満18歳となる日の前日までに児童養護施設等への入所の処置を解除された人、満18歳となる日以降に入所する(養育・一時保護される)こととなった人も含む。 ※日本学生支援機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」(原本)でも可。	社会的養護を必要とされる方★
(7) 生計維持者の「海外居住者のための収入基準額算出ツール兼申告書」と証明書	詳細は、日本学生支援機構ホームページで確認してください。 <a href="https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/mynumber/kaigaikyoju.html">https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/mynumber/kaigaikyoju.html</a>	生計維持者が2024年1月1日時点で国内に居住していない方★

★給付型奨学金も同時に出願する場合は1部のみご準備ください(貸与奨学金と給付奨学金それぞれで用意する必要はありません)。

独立生計者(学生本人が生計維持者)は出願前に学生生活課へご相談ください。

**(8) 入学時特別増額貸与奨学金を申し込む人のみ、(1)～(7)と合わせて郵送してください。  
(本年度秋学期入学者のみ対象)**

提出書類(郵送)	説明
<p>①入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書</p> <p>②融資できない旨を記載した公庫発行の通知文のコピー</p> <p>③入学時特別増額貸与奨学金に係る貸与総額増額願</p>	<p>日本政策金融公庫の教育ローンを申し込んだが融資を受けられなかった世帯の人のみ提出してください。</p> <p>①・③は所定用紙がありますので、必要な人は学生生活課窓口に出してください。</p> <p>②の通知文は、公庫が定める申込要件を満たしたうえ、審査の結果融資できないと判断された方に発行されるものです。したがって、公庫から融資できると判断された方・公庫へ一旦申し込んだ後に当該申込を取下げた方・または公庫が定める申込要件を満たさない方は、入学時特別増額貸与奨学金は利用できません。</p> <p>③は第二種奨学金及び併用貸与申込者のみ提出してください。人的保証制度を選択した場合は、連帯保証人及び保証人の自署・押印(実印)と印鑑登録証明書の添付が必要となります。</p>

### ●STEP③

出願書類を提出された方に、スカラネット入力用のユーザーID・パスワードをMicrosoft 365 (Outlook) のメール(大学から付与されたアドレス宛)にお知らせしますので、「**貸与奨学金案内**」に**とじ込みの下書き用紙**に**予め記入の上、スカラネットに入力してください。**

### ●STEP④

スカラネットでの申込(入力)後、「マイナンバー提出書」のセットを使って、一週間以内に日本学生支援機構へマイナンバーを提出してください。

#### 注意事項

1. (1) 奨学金願書の家族に関する情報は**出願時点の情報**で入力してください。
2. 黒のペンまたはボールペンで丁寧に記入してください(こすると消えるペンは不可)。
3. 書き間違えた場合、修正箇所を二重線で削除のうえ、余白に正しい内容を記入してください(修正液・修正テープは不可)。
4. 書類は**出願者本人が記入してください**(親任せにしないこと)。選考時に記載内容について質問することがありますので、家族の各々の事情について十分把握しておいてください。**奨学金を希望し、出願するのはあなたです。**
5. 書類がそろっていない場合や、記載内容に虚偽がある場合は選考から除外します。

STEP②～STEP④の手続きが完了していない場合は選考対象外となります。十分注意してください。

2024年度  
日本学生支援機構貸与型奨学金  
「二次採用」願書

印刷する際は、白黒でもカラーでもどちらでも構いません。

学生ID (10桁)	1101249999	学部	神学部
---------------	------------	----	-----

受付番号 (大学使用欄)	
-----------------	--

出願者に関する事項	フリガナ	ドウシシャ タロウ		
	氏名	同志社 太郎		
	現住所	〒 602 - 8580	都道府県	京都府
		京都市上京区今出川7丁目 ハイツA棟601号		
	生年月日	西暦 2005 年 5 月 27 日生(満 19 歳)		
	携帯番号	××× - ○○○○ - △△△△		
	通学形態	自宅外		
	国籍(日本以外)			

↓「はい」か「いいえ」を選択してください。  
出願コードが(3)(9)以外の方は「はい」を選択してください。 ↓  
第一種奨学金に出願する。※  
今回の二次採用で給付型奨学金も同時に出願する。  
※出願コードが(3)(9)以外の方は、給付型奨学金も同時に出願する場合のみ「はい」を選択してください。

生計維持者①氏名		生計維持者②氏名	
フリガナ	ドウシシャ ジョウジ	フリガナ	ドウシシャ ヤエ
氏名	同志社 譲二	氏名	同志社 八重
生計維持者①生年月日		生計維持者②生年月日	
西暦 1970 年 1 月 1 日		西暦 1972 年 10 月 1 日	

申込日時点の収入状況	「はい」か「いいえ」を選択してください。	「はい」か「いいえ」を選択してください。
1. 2023年1月2日以降に転職したことにより減収した (現在、複数の勤務先があり、1つでも上記の状態にあてはまる場合も含む) ブルダウから選んでください(全員)	はい	いいえ
2. 海外勤務で2024年度(2023年1月1日～12月31日)の住民税が課税されていない ブルダウから選んでください(全員)	いいえ	いいえ

○注意事項

- 生計維持者が1名の場合は、「生計維持者②氏名」欄に「なし」と記入し、出願のしおりp.7記載の書類を提出してください。
- すべて「いいえ」の場合は、収入に関する書類の提出は不要です。
- 2023年1月2日以降に転職したことにより減収した方  
マイナンバーによる家計審査の結果、第一希望の申込区分の家計基準を満たさなかった場合、転職後の収入で再審査を行うことができます。  
再審査の対象者には、収入証明書類の追加提出について、12月頃に大学から連絡します(貸与奨学金案内p.34～36参照)。  
スカラネット入力の際は、出願のしおりp.11記載のとおり、再審査の希望を入力してください。  
通常(マイナンバーのみでの審査)に比べ、採用決定が1～2か月遅れることがあります。
- 海外勤務で2024年度(2023年1月1日～12月31日)の住民税が課税されていない場合は、出願のしおりp.7記載の書類を提出してください。
- 2023年1月2日以降に退職・休職(廃業・休業)し、退職・休職後の収入状況での選考を希望する場合は、緊急・応急採用(出願のしおりp.12参照)で出願してください。

↓家族住所が出願者と同じ場合は「同上」と記入してください。

家族連絡先	家族住所	〒 379 - 0016	都道府県	群馬県	電話番号	△△△ - ○○○○ - ××××
		安中市安中1丁目7-30			FAX	- -
					父 携帯	○○○ - △△△△ - ××××
					母 携帯	○○○ - ×××× - △△△△

同志社大学長 様

願書の記載事項に相違ありません。  
申込条件および学校法人同志社の「同志社個人情報保護規程」を確認、同意のうえ、関係書類をそろえて日本学生支援機構貸与型奨学金に同意のうえ、関係書類をそろえて日本学生支援機構貸与型奨学金に出願いたします。

2024 年 9 月 27 日

本人(自署)

同志社 太郎

※ご記入いただいた情報は奨学金業務のために使用し、その他の目的には使用しません。

《注意》出願者住所・家族住所

- 出願者の「現住所」欄には、現在住んでいる住所を記入してください(下宿している方は下宿先を記入)。
- 住所は番地、○○方まではっきり書いてください。

以下の項目は、特に入力間違いが多いので、必ずスカラネット入力前に確認してください。

給付型奨学金と貸与型奨学金の両方出願する場合は、給付型奨学金のスカラネット入力下書き用紙を使用してください。

#### 【識別番号入力】

ユーザーID、パスワードについては、「スカラネット入力について（ご案内）」（出願書類を提出された方にMicrosoft 365（Outlook）のメール（大学から付与されたアドレス宛）に送付します）を参照して、大文字・小文字、全角・半角に気をつけて入力してください。すべて半角入力です。

#### 【奨学金学種（学校）・申込の選択】

申込む奨学金：「定期採用（1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金）」を選択してください。

#### 【確認書兼同意書の提出】

全員提出必須です。ここでは「提出しました。」にチェックしてください。

#### 【奨学金申込情報】

出願種別によって選考に有利・不利はありません。

※第一種・第二種どちらか一方の奨学生が二次採用（今回）でさらにもう一方を申し込み、併用貸与を希望する場合は、下記のいずれかを選択してください。

「（10）第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。」

「（11）第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。」

「（13）第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。」

「（14）第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。」

#### 【あなたの在学情報】

※以下は全員同じ入力をしてください。

「あなたの学籍番号を記入してください。」→**学生証記載の10桁の番号です。**

「あなたは専攻科または別科に在学していますか。」→「いいえ」

「昼夜課程を選択してください。」→「昼（昼夜開講含む）」

「あなたの正規の修業年限を記入してください。」→「4年0ヶ月」

「あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。」

→【今出川キャンパス】〒602-0893 京都市上京区玄武町601

→【京田辺キャンパス】〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3

「あなたの通学形態を選択してください。」

→自宅外通学とは、あなたが生計維持者のもとを離れて生活し、かつあなた本人の居住に係る家賃が発生している状態のことをいいます。「自宅外通学」が適用される要件のいずれにも該当しない場合は「自宅通学（またはこれに準ずる）」を選択してください。

#### 【保証制度】

「あなたが希望する保証制度を選択してください。」について、出願のしおり（p.5）を熟読のうえ、「人的保証」を選択する場合は、連帯保証人（原則父または母）および保証人（原則父母以外の4親等以内の成年親族のうち、奨学生本人及び連帯保証人と別生計で、採用時（スカラネット入力日を採用時とする）に65歳未満の人）を選任してください（必ず事前に該当者の承諾を得たうえで記入してください）。

連帯保証人・保証人を選任できない場合は「機関保証」を選択してください。

採用後、機関保証から人的保証への変更はできませんので、保証制度は慎重に選択してください。

### 【あなたの家族情報】

※生計維持者が 2023 年 1 月 2 日以降に転職した方のみ

「生計維持者は 2023 年 1 月 2 日以降に転職しましたか。」→「はい。」

「第一希望の貸与奨学金が不採用になる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。」→チェック

「上記の内容を理解の上、直近の給与明細を書面で提出する審査を希望します。」→チェック

### 【緊急・応急採用情報】

入力不要です。

※申し込み情報を送信した後に入力内容に誤りがあることが判明した場合は、「日本学生支援機構奨学金申込みデータ(スカラネット)修正申請書」(本学指定用紙)(<https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/>からダウンロードできます)を提出してください。スカラネット入力下書き用紙の該当ページをコピーし、赤字で修正内容を記入したものを添付してください。

## （１）趣旨

進学前又は在学中に被災や父母等の病気等の事由により家計が急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に貸与奨学金を必要とする場合は、急変後の年収見込みにより選考が行われる緊急採用（第一種奨学金）、応急採用（第二種奨学金）に、年間を通じて申し込むことができます。  
貸与額等の詳細については p.2 を参照してください。

## （２）出願資格、学力基準、家計基準

出願者は以下の基準を満たしている必要があります。

### ① 出願資格

家計が急変した人で以下の事項のいずれかに該当する人。ただし、出願できるのは以下の事情が発生した時から 1 年以内（進学前に以下の事情が発生した場合は、進学後 3 ヶ月以内）である場合に限ります。

家計急変事由		家計急変事由の発生日
1. 生計維持者が死亡		生計維持者が死亡した日
2. 事故・病気等	(1) 生計維持者が事故・病気等となり就労困難【休職による収入減少】	事故・病気等発生以降の家計急変日
	(2) 同一生計の家族が事故・病気となり家計が急変【生計維持者の支出増大】	事故・病気等発生日
3. 生計維持者が失職（退職、会社倒産、廃業）		離職日、廃業日
4. 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災	(1) 被災等により、収入が亡くなった	罹災日、被災日
	(2) 被災等により、収入が減った	
	(3) 被災等により、支出が増えた（収入状況は変化なし）	
5. 父母等による暴力等からの避難		保護施設への入所年月日等
6. 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）		離別日（離婚日、失踪日等）

### ② 学力基準

- ・大学等における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。  
詳細は、所属校地の学生生活課窓口までお問い合わせください。

### ③ 家計基準

- ・定期採用（一次、二次）と同じ。生計維持者の収入状況等から算出する「貸与額算定基準額」が基準内であること。  
詳細は「貸与奨学金案内」 p.44～p.45 をご確認ください。

## （３）貸与期間

### ① 緊急採用

- ア) 貸与開始…家計急変の事由が発生した月以降で、申込者が希望する月とします。  
ただし、2024 年度入学者は、入学月より前に遡ることはできません。
- イ) 貸与終期…標準修業年限が終了するまでとします。ただし、家計が好転し、奨学金を必要としなくなったときは、奨学金を減額または辞退することができます。

### ② 応急採用

- ア) 貸与開始…2024 年 4 月以降で、申込者が希望する月とします。ただし、2024 年 4 月より前に家計急変事由が発生した場合は、家計急変事由が発生した月まで（当該年度入学者は入学年月まで）貸与始月を遡ることができます。
- イ) 貸与終期…標準修業年限が終了するまでとします。ただし、家計が好転し、奨学金を必要としなくなったときは、奨学金を減額または辞退することができます。

## （４）出願から採用まで

まずは学生生活課へ相談に来てください。  
その際、出願資格を確認しますので、家庭事情等を把握しておいてください。  
出願後、大学内で選考し、日本学生支援機構に推薦します。日本学生支援機構が採否を決定し、結果は郵送等で連絡します。

V. 奨学金制度一覧

高等教育の修学支援新制度

名称	種類	金額	対象		採用(*1) 〔出願〕	願書 入手時期	出願期間 (*3)	採否決定	備考
			家計基準	成績基準					
日本学生支援機構給付奨学金	給付	世帯収入により異なる  給付奨学金（月額） 自宅外通学 第Ⅰ区分：75,800円 第Ⅱ区分：50,600円 第Ⅲ区分：25,300円 自宅通学 第Ⅰ区分：38,300円 第Ⅱ区分：25,600円 第Ⅲ区分：12,800円	住民税非課税世帯またはそれに準じる世帯  （詳細は文部科学省、日本学生支援機構のWEBサイト、同志社大学の奨学金のサイトを参照）	下記（*4）参照	194 〔305〕	3月下旬～（予定）  9月上旬～（予定）	4月上旬～5月上旬（予定）  9月中旬～10月中旬（予定）	7月上旬（予定）  12月上旬（予定）	他に国籍・在留資格等に関する要件、大学等に進学するまでの期間等に関する要件あり。 給付期間：標準修業年限まで。ただし継続にあたり毎年学業成績・学修意欲、経済状況についての審査あり。 （*5）
授業料等減免	授業料等減免	世帯収入により異なる  授業料減免（年額） 第Ⅰ区分：700,000円 第Ⅱ区分：466,700円 第Ⅲ区分：233,400円 入学金減免（新入生） 第Ⅰ区分：200,000円 第Ⅱ区分：133,400円 第Ⅲ区分：66,700円				家計が急変した場合は随時対応	家計が急変した場合は随時対応	7月下旬（予定）  12月下旬（予定）	他に国籍・在留資格等に関する要件、大学等に進学するまでの期間等に関する要件あり。 授業料減免期間：標準修業年限まで。ただし継続にあたり毎年学業成績・学修意欲、経済状況についての審査あり。 （*5）

（\*4）成績基準

1年：次の①から④までのいずれかに該当すること

- ①高校等の評定平均値が3.5以上であること
- ②入学試験の成績が上位1/2以上であること
- ③高校卒業程度認定試験の合格者であること
- ④学修の意欲や目的、将来の人生設計等が学修計画書により確認できること

2年以上：次の①か②のいずれかに該当すること

- ①GPA（平均成績）等が学部・学科上位1/2以上であること
- ②修得単位数が標準単位数以上であり、学修の意欲や目的、将来の人生設計等が学修計画書により確認できること

（\*5）本制度による支援を受ける者は、日本学生支援機構貸与奨学金（第一種）の貸与金額が制限される場合がある。

＜金額および家計基準について＞

2024年度在学採用から、多子世帯（生計維持者が扶養している子どもの数が3人以上）または理工系学部（文化情報学部・理工学部・生命医科学部）所属学生については中間層（世帯年収600万円程度）まで支援対象が拡大されることから一部変更となります。

大学独自の奨学金

名称	種類	金額	対象		採用(*1) 〔出願〕	願書 入手時期	出願期間 (*3)	採否決定	備考
			家計基準(*2)	成績基準					
同志社大学奨学金	給付	2023年度の給付金額（年額） 神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部：300,000円 文化情報、スポーツ健康科学部：320,000円 理工、生命医科学部：430,000円 心理、グローバル・コミュニケーション学部：340,000円	2023年度採用実績 給与収入：575万円以下 営業所得：228万円以下	1年：入学をもって基準を満たす2年以上：学部・学科上位1/3以内かつ所定単位数以上を修得	151 〔258〕	7月中旬～（予定）	8月～9月中旬（予定）	11月中旬（予定）	給付期間：1か年限り（毎年出願可） 外国人留学生は出願不可
同志社大学貸与奨学金（2016年度以前生対象）	貸与（無利子）	年額 ①授業料相当額の1/2 ②授業料相当額	日本学生支援機構奨学金（第一種）に定められている収入基準額以下の者から選考します。	——	①0 ②0 〔0〕	7月中旬～（予定）	8月～9月中旬（予定）	11月中旬（予定）	貸与期間：1か年限り（毎年出願可） 最短修業年限+1年まで出願可 外国人留学生は出願不可 返還：卒業後10年以内
同志社大学育英奨学金	給付	年額 300,000円	学術、文化、スポーツ活動等に優れた成果をあげ、かつ、学業、人物共に優秀な者 全学部合計100名以内		100	公募及び学部推薦（学部により異なる）			給付期間：1か年限り（毎年出願可）
同志社大学寄付奨学金	給付	年額 100,000円	学部長等に推薦された学力・人物ともに優秀な者		16	公募はしない		5月下旬（予定）	1か年限り（推薦制）
同志社大学修学特別支援奨学金	給付	年額 200,000円	災害・不慮の事故等で家計支持者が死亡または後遺症により就労不能となった場合、災害等により住宅が半壊以上の被害を受け、家計が急変した場合	1年：所定単位数以上を修得 2年以上：学部・学科上位2/3以内かつ所定単位数以上を修得	1 〔1〕	7月中旬～（予定）	8月～9月中旬（予定）	11月中旬（予定）	1か年限り  出願：事由発生から1年以内であること
同志社大学短期貸付金	貸与（無利子）	①一般貸付 30,000円以内 ②特別貸付 100,000円以内	やむを得ない事情で、一時的に生活費支弁が困難になった者		①0 ②1	緊急の場合に随時（事務室開室時間）			返還：一般貸付の返還は3か月以内、特別貸付は10か月以内の月賦による



## ●入学後に募集する奨学金

### 学外の機関等による奨学金

名称	種類	金額	対象		採用(*1) [出願]	願書 入手時期	出願期間 (*3)	採否決定	備考
			家計基準	成績基準					
日本学生支援機構 第一種奨学金	貸与 (無利子)	月額20,000円～64,000円 ※入学年度により異なります 詳細は、『貸与奨学金案内』を 参照	生計維持者の貸 与額算定基準額 が189,400円以下 であること※	1年：高校成績評 定平均値3.5 以 上 2年以上：学部・ 学科上位1/3以内 かつ所定単位数 以上を修得	一種 171 二種 307  [482]	3月下旬～ (予定)	4月上旬～ 5月上旬 (予定)	7月上旬 (予定)	標準修業年限まで貸与 外国人留学生は出願不可 第二種奨学金の金利の種類は、利 率固定方式、利率見直し方式があ る。利率の上限は3%。 返還：借用総額により異なるが卒 業後10～20年以内 新入生（編入学生含む）には、初 回振込に10～50万円増額できる制 度がある。 在学留学あるいは海外の大学院に 進学する者を対象に利用できる第 二種奨学金制度もある。
日本学生支援機構 第二種奨学金	貸与 (有利子)	月額20,000円～120,000円 ※入学年度により異なります 詳細は、『貸与奨学金案内』を 参照	生計維持者の貸 与額算定基準額 が381,500円以下 であること※	1年：入学をもつ て基準を満たす 2年以上：所定単 位数以上を修得		9月上旬～ (予定)	9月中旬～ 10月中旬 (予定)	12月上旬 (予定)	
同志社校友会 奨学金	給付	年 額 300,000円	成績優秀かつ経済的支援を 必要とする2年次生以上の者		50	公募はしない		1月下旬	1か年限り (推薦制)
民間・ 地方公共団体奨 学金	給付 または 貸与	各奨学団体により異なる	各奨学団体により異なる (大学推薦団体は学業・人物とも に優秀で、経済的な理由により修 学が困難な者)		97	[大学推薦団体] 願書交付：7月中旬～（予定） 出願期間：8月～9月中旬（予定）  [公募団体] 3月下旬より随時募集			大学推薦団体分は同志社大学奨学 金・同志社大学貸与奨学金と同時 に募集(民間団体奨学金のみの登 録可)。 返還：貸与の場合は各奨学団体に より異なるが卒業後10～15年以内

\*1 採用者数[出願者数] は2023年度実績。

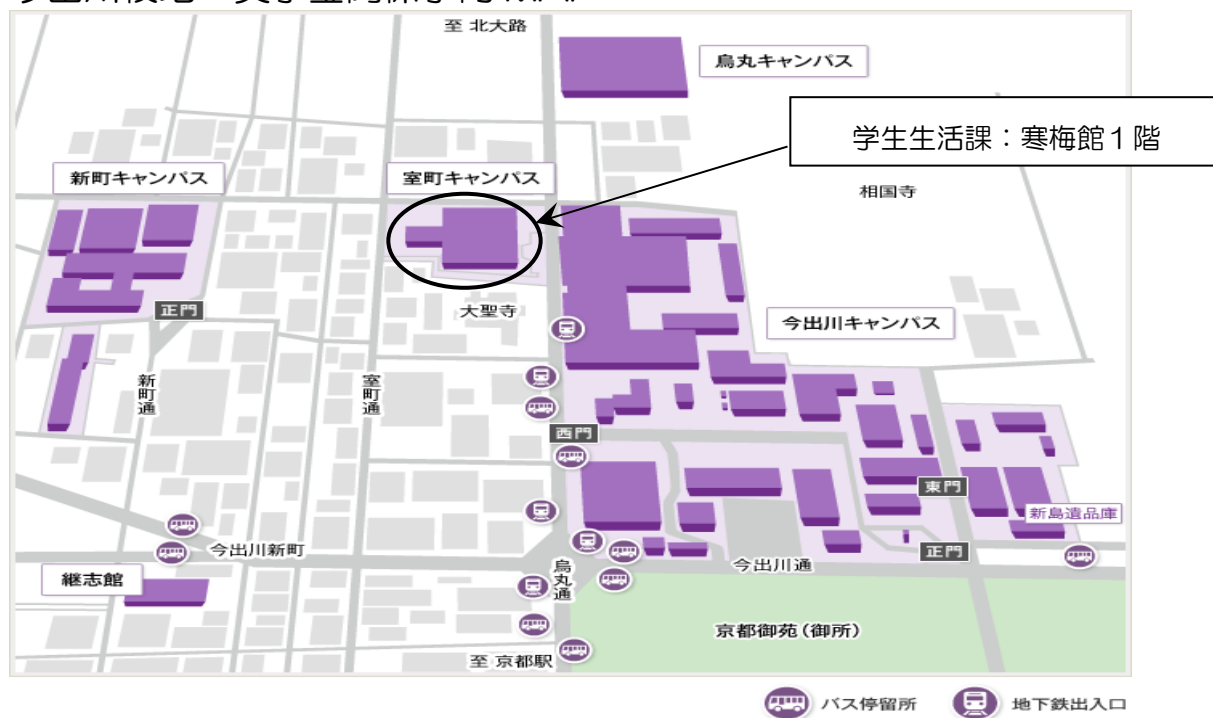
同志社大学奨学金は採用人数に限度があるため基準内であっても採用されない場合があります。

\*2 家計基準は、4人家族（両親のうち1名が就労、本人：自宅通学文系、妹または弟：公立高校通学）をモデルケースとした場合の収入（所得）金額です。

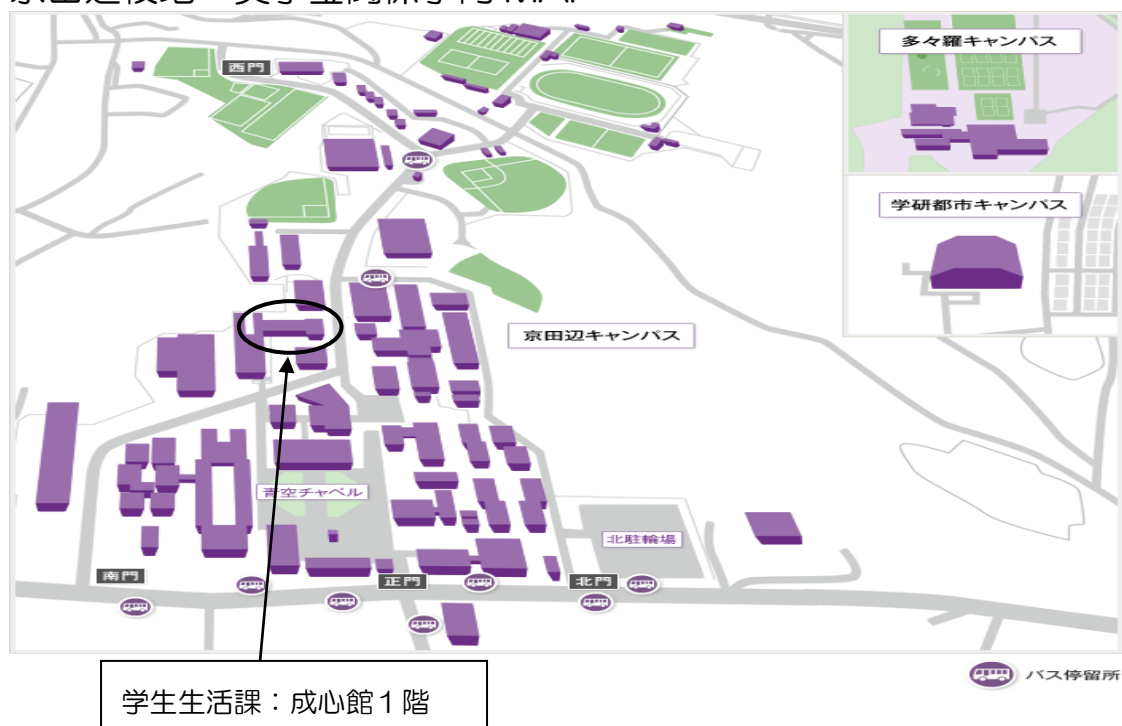
\*3 詳しい出願時期、出願方法に関しては、出願のしおりや本学の奨学金のサイト等にて必ずご確認ください。

※詳細は、貸与奨学金案内p.11を参照ください。

## 今出川校地 奨学金関係学内 MAP



## 京田辺校地 奨学金関係学内 MAP



### 連絡先

#### 同志社大学 学生生活課

今出川校地 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 TEL 075-251-3280

FAX 075-251-3083

京田辺校地 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3

TEL 0774-65-7430

FAX 0774-65-7429